

週間国際経済 2023 (7) No.341 03/05~03/15

- 03/06・中国、成長目標 5%前後 全人代開幕 2年連続下げ、景気回復を最優先 <1>
構造改革先送り 国防費 7.2%増、伸び拡大 台湾総統選見据え
- 03/07・韓国、元徴用工で解決策発表 日韓関係、正常化へ前進 <2>
・実質賃金 1月 4.1%減少 10ヶ月連続減、物価高響く
- 03/08・FRB 議長「利上げ加速の用意」 米 2年債 15年ぶり 5%台 NY株急落、574ドル安
・経常赤字 1月過去最大 1兆 9766億円 円安・資源高響く <3>
・スリランカ支援承認へ IMF29億ドル 中国が債務削減に協力 高まる圧力に譲歩か
- 03/09・カナダ中銀、利上げ停止 G7で初 経済動向見極め 再開の余地残す
- 03/10・日本経済「ゼロ成長」に GDP0.1%増に下方修正 10~12月改定値 物価高、重荷
・独、ノルドストリーム破損で 6人捜査 親ウクライナ派関与指摘も
・企業物価 8.2%上昇 2月、伸び鈍化 電気・ガス料金抑制
・米シリコンバレー銀株 6割安 新興テックが資金繰り悪化 預金流出懸念広がる
- 03/11・イラン・サウジ外交正常化 中国仲介、緊張緩和へ バイデン政権に痛手 <4>
米不在、危うい雪解け 中国主導の秩序再編 アラブ諸国、歓迎相次ぐ
・豪印、中国対抗で連携 包括経済協定や海上訓練 両首脳協議 (10日、シドニー)
・米印、半導体で協力覚書 供給網や人材・技術開発
・シリコンバレー銀破綻 (10日) 米銀過去 2番目の規模 金利上昇で巨額損失
・欧州銀行株が下落 債券含み損警戒広がる
- 03/13・シリコンバレー銀破綻 米当局「預金は全額保護」 資金繰りで新枠組み
- 03/14・習政権 3期目始動 全人代閉幕「台湾に干渉反対」 李強首相、景気に危機感
「習氏 1強」海外マネー流出 新興製造業に統制強める 生産性向上の逆風に
・シリコンバレー銀、急転直下の破綻 預金、1日で 2割強流出 <5>
格下げ回避、裏目 日米国債に買い集中 円上昇、一時 132円台
・再生エネ世界で昨年 1.4倍 ウクライナ侵攻で導入加速 <6>
EU、ガス火力を上回る 日本、なお化石燃料頼み
・南北、軍事力示威で緊張 米韓、5年ぶり大規模演習 北朝鮮、ミサイルで対抗
・働きながら介護 経済損失 9.2兆円 経産相、30年時点を試算
- 03/15・米消費者物価 6.0%上昇 2月 インフレ抑制、難局に
・豪、源泉に 32兆円投資 米英と協力、中国に対抗
・サムスン、半導体新拠点 ソウル近郊 受託生産、31兆円投資
・米無人機、ロシア機と衝突 黒海上空、公海に墜落
・シリコンバレー銀 旧経営陣、事前に株売却 米紙報道 米司法省など経緯を調査
・米メタ、1万人追加削減 成長鈍化、5000人採用も中止
・韓国ポスコ、徴用工財団に 4億円を拠出

<1>

中国の経済政策のポイント

消費など内需拡大に注力

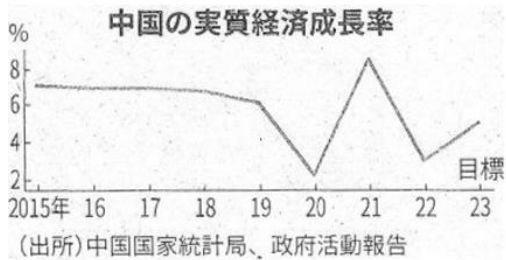
- 経済成長率目標は「5%前後」。2年連続で引き下げ
- 財政赤字のGDP比は3.0%に引き上げ。インフラ債の新規発行枠は過去最大

対外開放をアピール

- 環太平洋経済連携協定 (TPP) への参加を積極的に推進

国内外のリスクを警戒

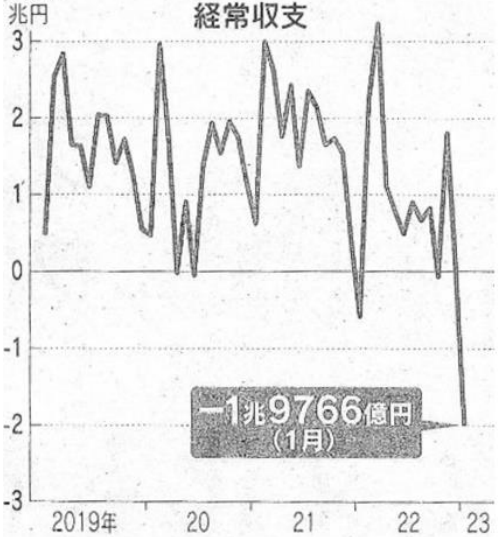
- 国の総力を挙げて半導体産業などを育成する「新型挙国体制」を整備
- 金融監督の強化でシステムリスクを防止



<2>



<3>



<4>

サウジとイランをめぐる動き

2016年1月	サウジがシーア派指導者らの処刑を発表、テヘランでサウジ大使館が襲撃され両国が断交
21年4月	サウジとイラン高官が関係正常化に向け直接協議
22年12月	中国の習主席がサウジ訪問、ムハンマド皇太子らと会談 イランとサウジ両外相がヨルダンで会談
23年2月	イランのライシ大統領が訪中、習主席と会談
3月	イランとサウジが外交関係を正常化させると発表

<5>



<6>

